

# 「B 群溶血性連鎖球菌菌血症における臨床的・微生物学的特徴、予後の後ろ向き多施設研究」へのご協力のお願い

代表者名	所属	職名
春木 祐人	津山中央病院 薬剤部	リーダー

## 1. 目的

B 群溶血性連鎖球菌（*Streptococcus agalactiae* : GBS）は新生児感染症の原因菌として広く知られているが、近年では高齢者や基礎疾患を有する成人における重篤な感染症の起因菌としても注目されている<sup>1</sup>。成人の GBS 菌血症は、糖尿病や悪性腫瘍、免疫抑制状態などを背景に発症し、敗血症性ショックや多臓器不全を伴う場合も少なくない。一方で、成人 GBS 菌血症の臨床像、転帰、死亡率、ならびにその予後因子に関する日本からの大規模な報告は限られており、特に 30 日死亡率やそのリスク因子については不明な点が多い。本研究は、岡山大学病院を含めた中国地方の複数の医療機関における成人 GBS 菌血症症例を後方視的に解析し、臨床的、微生物学的特徴、30 日死亡率およびそれに関連する臨床的リスク因子を明らかにすることを目的とする。加えて、予後因子を探索することで、早期のリスク層別化および適切な治療介入に資する知見を得ることを目指す

## 2. 対象と方法

血液培養で陽性になった 18 歳以上の成人のうち、少なくとも 1 セットで GBS が検出された患者。

## 3. 研究期間

委員会承認後 ～ 2028 年 3 月 31 日

## 4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報は削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

## 5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報 は完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としませんので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 岡 岳文

連絡先：電話 0868-21-8111（担当：薬剤部 春木 祐人）